

14 海の豊かさを
守ろう



4 質の高い教育を
みんなに



2 飢餓を
ゼロに



世界中の子供たちに質の良い教育を！

資料①



資料②



資料①は、世界各国の学校に通えない子供たちの割合を示しています。アフリカにふくまれるサブサハラと、欧州・北米を比べるとアフリカが約30%ほど多くなっています。続いて、資料②を見てください。これは、募金をすることで買える勉強道具を表したものです。募金が20968円集まると40人の子供が勉強できるキットを、1セット買うことができます。また、1723円集まるとスケッチブック10冊とクレヨン10セットを買うことができるのです。

私たちは毎週学校で当たり前前に勉強することができています。しかし、世界にはそれが当たり前ではない子供たちもいます。学校に通うことのできない子供たちのために、私たちに何ができるのでしょうか。

私は、教育を受けることができない子供たちのためにアフリカなどに教育支援をしている、ユニセフなどの団体に募金をするべきだと考えます。なぜなら、アフリカは世界の学校に通えない子供たちの割合が最も多いと言えて、沢山の人が募金をすれば何十人もの子供が勉強することができるようになるからです。



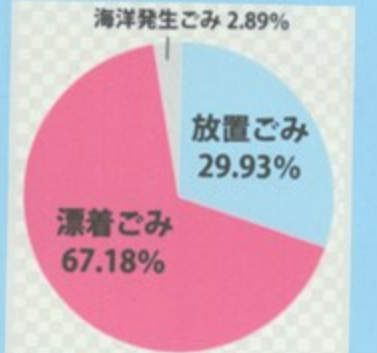
海の生き物を守るためにはなにができる？

14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守るのは、魚の命を守る一つの方法です。私たちが関わっている海の豊かさが壊れる主な原因は、ポイ捨てや適切に処理されていないゴミなどが海に流れ、そのゴミを魚達が食べて死んでしまう事です。そのような事を無くし力を入れる事が大事だと思います。なぜなら、プラスチックゴミの大半が日常で使う物だからです。

資料① 海岸に漂着したゴミの割合



資料② ウミガメに引っかかったゴミ袋



課題

続いて、資料②を見てください。この写真はプラスチック製のゴミ袋が、ウミガメの首に絡まってしまった様子です。そしてウミガメの首に絡まっているゴミ袋は、私達が普段使う日常で使うものであることが、資料②から読み取れます。

「ポイ捨てくらい良いだろゴミ箱に捨てるのめんどくさいし」などのことを思っている人がいたら、海のキレイさや魚の命も守れません。だから、一人一人がゴミをポイ捨てをせずにしっかりゴミをゴミ箱に捨てるなどの、海洋ゴミを減らして魚の命を守る一つの行動なのではないでしょうか。



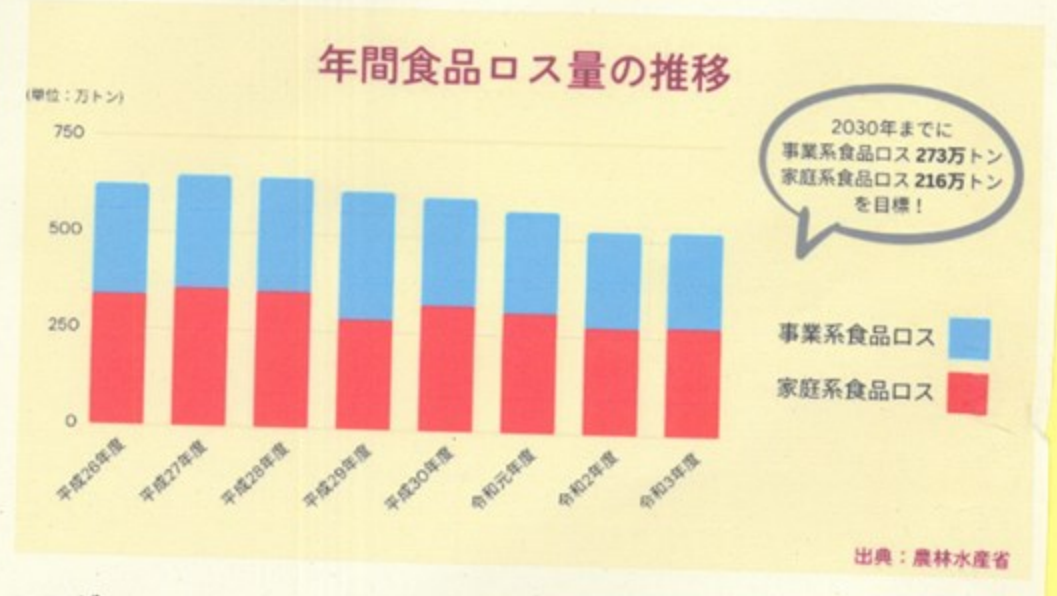
2 飢餓を
ゼロに

飢餓をなくすために

現状
世界の多くの人々が飢餓で困っています。世界中の人達が、満足に食事をとることが出来ていないことが現状です。



食品ロスの課題
フードロスによって飢餓が増えているにも関わらずフードロスは余り減っておらず、その半分は自分たちが捨てています。



自分たちに出来る事と理由
今私たちにできることは、多くの人々が飢餓で困らないために、フードバンクに、食べれない食品を寄付することや、自分たちが食べれる量を買ったりして、なるべく残さないようにすることで、食品ロスをなくし飢餓をなくせると考えます。飢餓のほとんどが食品ロスによるもので、いらぬ物を買ってその人が多く買うからと多く輸入し、本当に買いたいのに買えなくて飢餓が生まれます。このようなことが起きるため自分たちが食べれる量を買ったりして、なるべく残さないようにする事が大切です。

ロスゼロ
【2023年最新】令和3年度の食品ロス量が発表！ - ロスゼロ